



地域での暮らし、看取り

～ホームホスピス宮崎「かあさんの家」市原美穂さんをお招きして



地域の人たちとともに、新たな縁を結んでいけるような場をつくっていききたい。そんな願いを現実のものにするため、高齢の人や障害のある人の生活を支え、地域社会の構築にむけて活動している方をお招きし、お話を伺います。第1回目は、宮崎で活動されている「ホームホスピス宮崎」理事長の市原美穂さんのお話を伺います。また、後半は奈良で活動している人たちの取り組みを報告いただき、お互いに支えあえる地域づくりへの契機としたいと思います。

2014年6月29日[日] 奈良県文化会館 小ホール(奈良市登大路町6-2)
13:00 開場(受付開始) 13:30 開演 16:00 終了

定員:200名 参加費:1,000円



前半／講演「終の棲家～かあさんの家の活動について～」

市原美穂さん(ホームホスピス宮崎「かあさんの家」理事長)

後半／パネルディスカッション「奈良市での取り組みから共有できること」

若野達也さん(一般社団法人SPSサポートセンターきずなや 代表)

中田良子さん(大塔福祉ふれあいの会 代表)

内山尚子(たんぼぼ相談支援センター相談員)

申込・問合せ先

主催:社会福祉法人わたぼうしの会 実施主体:有縁のすみか実行委員会
〒630-8044 奈良市六条西3-25-4 たんぼぼ生活支援センター内(松本・内山)
Tel:0742-40-1030 Fax:0742-49-5523 E-mail:uen@popo.or.jp

アクセス



近鉄奈良駅から

東改札口より、1番出口を出てそのまま東へ 徒歩約5分
(奈良県庁の手前、西隣です)

JR奈良駅から

東出口バスターミナルから、奈良交通2系統 市内循環バス
(外まわり)に乗り約10分「県庁前」バス停下車、
西へ 徒歩約2分

前半／講演「終の棲家～かあさんの家の活動について～」

市原美穂さん(ホームホスピス宮崎「かあさんの家」理事長)

海外のホスピスの視察を経て、1998年から「ホームホスピス宮崎」設立に参画。2000年に認証を受け、2002年から現職。2004年に空いている民家を借りて「ホームホスピスカあさんの家」を開設。現在宮崎市内で4軒を運営。かあさんの家の取り組みは、各地に広がっている。



ホームホスピスとは…

ケア付きの共同住宅。病気や高齢のため一人暮らしが困難な人でも、住み慣れた地域、家にできるだけ近い環境で過ごせるよう、NPO法人などが空き家を活用して運営している。看護職・介護福祉士などの専門職が24時間常駐し、ボランティアや地域の人たちも運営に関わるなど、地域に開かれた生活の場である。認知症のグループホームなど従来の介護施設と異なり、死期が近づいても、病院に搬送せずに、暮らしの場で看取りを行っている。ホームホスピス宮崎から始まり、現在、九州と関西で7か所が運営されている。

後半／パネルディスカッション「奈良市での取り組みから共有できること」

若野達也さん(一般社団法人SPSサポートセンターきずなや 代表)

2012年に奈良市の中登美団地ショッピングセンターに若年認知症サポートセンター「絆(きずな)や」を開設。今年奈良市中町に移転し、改称。認知症の人の社会参加や暮らしを支援するとともに、過疎化が進むこの地域で住民とともに福祉による地域活性に取り組む。

中田良子さん(大塔福祉ふれあいの会 代表)

高齢化率50%以上の限界集落で、過疎化が進んでいた五條市大塔町(旧大塔町)を拠点に、「大塔福祉ふれあいの会」を設立。高齢者のデイサービスの補助や配食のサービス、見守り、健康診断の補助などを行ってきた。2011年の紀伊半島大水害では、仮設住宅で見守り活動を行う。

内山尚子(たんぼぼ相談支援センター相談員・有縁のすみか建設委員)

たんぼぼ相談支援センターにて障害のある人の相談員として活動。「有縁のすみか」の設立委員でもある。

※有縁のすみかフォーラムは、たんぼぼの家で建設を予定している、新しい地域の拠点となる福祉ホームの設立に向けた活動の一環として行うものです。

お申し込み

下の欄にご記入の上Fax(0742-49-5523)をお送りいただくか、下記申込先まで、電話、メールでご連絡ください。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

お名前

ご住所(〒)

ご所属

参加人数

電話番号

ファックス番号

※ご記入いただいた個人情報、本講演会の受付業務および、たんぼぼの家からのご案内の際に使用させていただきます。

今後のご案内を希望されますか?

希望します

希望しません